

# 帝京大学医学部 卒業までのマイルストーン

		Level C	Level B	Level A	Level S
コンピテンス	コンピテンシー	知っている どう行おうかを考えられる  <30% 達成>	立案できる 模範的に実施できる  <60% 達成>	臨床現場で立案できる 模範的にまたは実際に実習で実施できる  <100% 達成・卒業時到達レベル>	より高いレベルで、 Level A を実行できる  <研修医レベル>
A. 患者中心の医療を実践できる	1 医師としてのプロフェッショナリズムに基づき、患者の立場になって全力を尽くすことができる（利他的態度）	利他的・共感的な態度について説明できる	患者の課題を理解し、効果的な患者医師関係の構築方法を選択できる	臨床実習現場で、医師としてのプロフェッショナリズムに基づき、患者の立場になって全力を尽くすことができる	臨床実習現場で、より高いレベルで医師としてのプロフェッショナリズムに基づき、患者の立場になって全力を尽くすことができる
	2 患者の尊厳を尊重し、インフォームドコンセントを実践できる（共感的態度）	インフォームドコンセントの概要を説明できる	インフォームドコンセントについて立案できる	臨床実習現場で、患者の尊厳を尊重し、模範的にインフォームドコンセントを実践できる	臨床実習現場で、患者の尊厳を尊重し、より高いレベルで模範的にインフォームドコンセントを実践できる
	3 患者の尊厳を尊重し、自己規制のもとで行動できる（自己規制）	自身の抱える問題を明確にし、それらの問題に対処可能かどうかの判断ができる	実習の現場で、自身の抱える問題を明確にし、それらの問題に対処可能かどうかの判断ができる（省察的態度）	臨床実習現場で、患者の尊厳を尊重し、自己規制のもとで行動できる	臨床実習現場で、患者の尊厳を尊重し、より高いレベルで自己規制のもとで行動できる
	4 患者の尊厳を尊重し、常に目標に向かって学習できる（生涯学習）	継続して学習する姿勢を身につける	患者の尊厳を尊重し、常に目標に向かって学習できる	臨床実習現場で、患者の尊厳を尊重し、常に目標に向かって学習できる	臨床実習現場で、患者の尊厳を尊重し、より高いレベルで常に目標に向かって学習できる
	5 医療倫理の基本に沿って学習、診療ができる（医療倫理）	医療倫理・研究倫理・利益相反・守秘義務と個人情報保護について説明できる	実習の現場で、医療倫理の基本に沿って学習、診療参加ができる	臨床実習現場で、医療倫理の基本に沿って学習、診療ができる	臨床実習現場で、より高いレベルで医療倫理の基本に沿って学習、診療ができる
B. 安全な医療を提供できる	6 患者の安全を確保することにより信頼される医療を提供できる（患者安全）	患者の安全確保のための基礎知識を説明できる	模範的に、患者の安全確保に基づいた行動を立案できる	臨床実習現場で、患者の安全確保に基づき行動できる	臨床実習現場で、より高いレベルで患者の安全確保に基づき行動できる
	7 院内感染対策と医療従事者の健康管理を実践できる（患者と医療従事者の感染対策）	院内感染対策と医療従事者の健康管理を実践するための基礎知識を説明できる	模範的に、院内感染対策と医療従事者の健康管理を立案できる	臨床実習現場で、医療従事者の健康管理と院内感染対策に基づき行動できる	臨床実習現場で、より高いレベルで医療従事者の健康管理と院内感染対策に基づき行動できる
	8 患者安全と院内感染対策を生涯にわたって継続的に実践できる	患者安全と院内感染対策を生涯にわたって継続的に実践することの必要性を説明できる	模範的に、患者安全と院内感染対策に関する継続的生涯学習を立案できる	臨床実習現場で、患者安全と院内感染対策に関する継続的生涯学習を実践できる	臨床実習現場で、より高いレベルで患者安全と院内感染対策に関する継続的生涯学習を実践できる
C. コミュニケーション・スキルを活用して、患者や家族と良好な関係を築き、チームの一員として責任を果たせる	9 良好な人間関係を築くため、コミュニケーション・スキルを活用できる（基本的コミュニケーション）	コミュニケーションにおける基本を説明することができる	実習の現場で、良好な人間関係を築くため、コミュニケーション・スキルを活用できる	臨床実習現場で、良好な人間関係を築くため、コミュニケーション・スキルを活用できる	臨床実習現場で、より高いレベルで良好な人間関係を築くため、より高いレベルでコミュニケーション・スキルを活用できる
	10 良好な患者と医師の関係を築くため、医療コミュニケーション・スキルを活用できる（医師患者関係のスキル）	医療コミュニケーションにおける基本を説明することができる	実習の現場で、基本的医療コミュニケーション・スキルを活用できる	臨床実習現場で、基本的医療コミュニケーション・スキルを活用できる	臨床実習現場で、より高いレベルで基本的医療コミュニケーション・スキルを活用できる
	11 良好な患者と医師の関係を築くため、対人関係の心理的要因に関する知識を活用できる（心理的要因）	心理的要因に関する知識を説明することができる	実習の現場で、対人関係の心理的要因に関する知識を活用できる	臨床実習現場で、対人関係の心理的要因に関する知識を活用できる	臨床実習現場で、より高いレベルで対人関係の心理的要因に関する知識を活用できる
	12 良好な患者と医師の関係を築くため、患者の立場で対応できる（共感的立場）	コミュニケーションにおける共感、敬意、思いやりの重要性を説明することができる	実習の現場で、共感、敬意、思いやりの重要性に基づき行動できる	臨床実習現場で、共感、敬意、思いやりの重要性に基づき行動できる	臨床実習現場で、より高いレベルで共感、敬意、思いやりの重要性に基づき行動できる
	13 良好な患者と医師の関係を築くため、患者の個別的な背景・問題点を把握できる（身体的、心理的、社会的問題点の明確化）	病状説明の要点項目を述べることができる	病状説明について立案できる	臨床実習現場で、模範的に病状説明ができる	臨床実習現場で、より高いレベルで模範的に病状説明ができる
	14 コミュニケーション・スキルを活用し、医療面接ができる（医療面接）	聴取すべき項目について説明できる	模範的に医療面接ができる	臨床実習現場で、医療面接ができる	臨床実習現場で、より高いレベルで医療面接ができる
	15 医療チームの一員として責任を果たせる（医療チームコミュニケーション）	チーム内における情報交換の重要性について説明できる	模範的にチーム医療に参加できる	臨床実習現場で、チーム医療に参加できる	臨床実習現場で、より高いレベルでチーム医療に参加できる
D. 社会制度や法律に基づいた医療を実践できる	16 保健、医療、福祉と介護の制度に関する知識を活用した診療ができる	保健、医療、福祉と介護の制度に関する知識を説明できる	保健、医療、福祉と介護の制度に関する知識を活用した診療が模範的にできる	臨床実習現場で、保健、医療、福祉と介護の制度に関する知識を活用した診療ができる	臨床実習現場で、より高いレベルで保健、医療、福祉と介護の制度に関する知識を活用した診療ができる
	17 地域医療・プライマリケアの基本的考えに基づき診療ができる	地域医療・プライマリケアの基本的考えについて説明できる	プライマリケアの基本を踏まえた診療が模範的にできる（診療計画が立案できる）	臨床実習現場で、プライマリケアの基本を踏まえた診療ができる	臨床実習現場で、より高いレベルでプライマリケアの基本を踏まえた診療ができる
	18 診療記録を作成できる	診療記録についての基本的知識を説明できる	模範的に診療記録を作成できる	臨床実習現場で、模範的に学生用診療記録を作成できる	臨床実習現場で、より高いレベルで学生用診療記録を作成できる
	19 人の死に関する法規や制度の知識を活用し、診療できる	人の死に関する法規や制度の知識を説明できる	人の死に関する法規や制度の知識を踏まえた論議に参加できる	臨床実習現場で、人の死に関する法規や制度の知識を踏まえたカンファレンスに参加できる	臨床実習現場で、より高いレベルで人の死に関する法規や制度の知識を踏まえたカンファレンスに参加できる
E. 疾病の予防、健康の増進に貢献できる	20 保健統計の意義や疫学、疾病予防に関する知識を活用できる（社会医学）	保健統計の意義や疫学、疾病予防に関する知識を説明できる	保健統計の意義や疫学、疾病予防に関する知識を活用し、計画立案できる	臨床実習現場で、保健統計の意義や疫学、疾病予防に関する知識を活用し、計画立案できる	臨床実習現場で、より高いレベルで保健統計の意義や疫学、疾病予防に関する知識を活用し、計画立案できる
	21 社会的、環境的要因や生活習慣と疾病との関係に関する知識を健康増進のために活用できる（社会医学）	社会的、環境的要因や生活習慣と疾病との関係に関する知識について説明できる	社会的、環境的要因や生活習慣と疾病との関係に関する知識を活用し、計画立案できる	臨床実習現場で、社会的、環境的要因や生活習慣と疾病との関係に関する知識を活用し、計画立案できる	臨床実習現場で、より高いレベルで社会的、環境的要因や生活習慣と疾病との関係に関する知識を活用し、計画立案できる
F. 代表的な疾病などに関する医学知識を身につけている	22 基礎医学の知識を活用し、診療できる（基礎医学）	人体の正常な構造・機能とその成立・維持に関わる機構を説明できる。病気の発症と進展に関わる因子・機構を説明できる	模範的に基礎医学の知識を活用し、診療できる（診療計画が立案できる）	臨床実習現場で、基礎医学の知識を活用し、診療できる	臨床実習現場で、より高いレベルで基礎医学の知識を活用し、診療できる
	23 臨床医学の知識を活用し、診療できる（臨床医学）	臨床医学における基礎知識を、基礎医学、社会医学、行動科学と関連し説明できる	模範的に臨床医学の知識を活用し、診療できる（診療計画が立案できる）	臨床実習現場で、臨床医学の知識を活用し、診療できる	臨床実習現場で、より高いレベルで臨床医学の知識を活用し、診療できる
	24 医学英語を活用し、診療できる	基礎医学英語を用いて医学的表現ができる	模範的に基礎医学英語を用いて医学的立案ができる	臨床実習現場で、基礎医学英語を用いて診療計画を立案できる	臨床実習現場で、より高いレベルで基礎医学英語を用いた診療計画を立てることができる
	25 人の死に関する臨床医学の知識を活用し、診療できる（死の倫理）	人の死に関する臨床医学の知識を説明できる	人の死に関する臨床医学の知識を踏まえ、論議に参加できる（立案できる）	臨床実習現場で、人の死に関する臨床医学の知識を踏まえ、論議に参加できる	臨床実習現場で、人の死に関する臨床医学の知識を踏まえ、より高いレベルで論議に参加できる
	26 移植医療に関する医学知識を活用し、診療できる（移植医療）	移植医療に関する医学知識を説明できる	移植医療に関する医学知識を活用し、論議に参加できる（立案できる）	臨床実習現場で、移植医療に関する医学知識を活用し、論議に参加できる	臨床実習現場で、移植医療に関する医学知識を活用し、より高いレベルで論議に参加できる
G. 頻繁に遭遇する疾病などの初期診療ができる	27 基本的臨床診断ができる（特に臨床推論）	基本的臨床診断の方法について説明できる	模範的に基本的臨床診断ができる（臨床推論で診療計画が立案できる）	臨床実習現場で、基本的臨床診断ができる（特に臨床推論）	臨床実習現場で、より高いレベルで基本的臨床診断ができる（特に臨床推論）
	28 基本的治療ができる（治療計画の立案ができる）	基本的治療、治療の適応について説明できる	模範的に治療計画の立案ができる	臨床実習現場で、模範的に治療計画の立案ができる	臨床実習現場で、より高いレベルで模範的に治療計画の立案ができる
	29 基本的治療ができる（標準的医行為ができる）	標準的医行為の適応と基本手順を説明できる	模範的に標準的医行為ができる	臨床実習現場で、模範的にまたは実際に、標準的医行為ができる	臨床実習現場で、模範的にまたは実際に、より高いレベルで標準的医行為ができる
	30 チーム医療で、プレゼンテーションができる	プレゼンテーションの基本を説明できる	チーム内でのプレゼンテーションができる	臨床実習現場で、チーム内でのプレゼンテーションができる	臨床実習現場で、より高いレベルでチーム内でのプレゼンテーションができる
	31 チーム医療で、チームメンバーとしての責任を果たせる（手術、集中治療）	手術、集中治療についての基本事項を説明できる	手術、集中治療の模範的環境で、チームメンバーとしての責任を果たせる（診療計画が立案できる）	手術、集中治療の現場で、チームメンバーとしての学生の責任を果たせる	手術、集中治療の現場で、より高いレベルでチームメンバーとしての学生の責任を果たせる
	32 チーム医療で、チームメンバーとしての責任を果たせる（救急災害医療）	救急災害医療についての基本事項を説明できる	救急災害医療の模範的環境で、チームメンバーとしての責任を果たせる（診療計画が立案できる）	救急災害医療の現場で、チームメンバーとしての学生の責任を果たせる	救急災害医療の現場で、より高いレベルでチームメンバーとしての学生の責任を果たせる
	33 チーム医療で、チームメンバーとしての責任を果たせる（在宅医療）	在宅医療についての基本事項を説明できる	在宅医療の模範的環境で、チームメンバーとしての責任を果たせる（診療計画が立案できる）	在宅医療の現場で、チームメンバーとしての学生の責任を果たせる	在宅医療の現場で、より高いレベルでチームメンバーとしての学生の責任を果たせる
H. EBMに立脚して必要な情報を収集・分析し、診療能力を向上する努力を生涯にわたって継続できる	34 EBMの原則のもとに診療ができる	EBMの原則について説明できる	EBMの原則を模範的に臨床症例に応用できる（診療計画が立案できる）	EBMの原則を臨床症例に応用できる	より高いレベルでEBMの原則を臨床症例に応用できる
I. 医学・医療の進歩に貢献できる	35 医学研究にリサーチマインドをもって関与できる	医学研究の基本的な方法について説明できる	学生実習で医学研究を実施できる	臨床実習現場で、医学臨床研究に関する知識を応用できる	医学臨床研究に参加できる
	36 医学の国際貢献に関与できる	医学の国際貢献のための基礎知識について説明できる	医学の国際貢献のための基礎知識について説明でき、関連する行動ができる	臨床実習現場で、医学の国際貢献に関する知識を応用できる	医学の国際貢献に参加できる